

科目名	地域施設計画論	英語科目名	Community Facilities Planning	
開講年度・学期	平成27年度 開講無	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻(建築学コース)1、2年	
授業形態	講義	必修 or 選択	選択	
単位数	2単位	単位種類	学修単位(15+30)h	
担当教員	尾立弘史	居室(もしくは所属)	建築学科棟1階ギャラリー内	
電話	内線 835	E-mail	oryu@小山高専ドメイン名	
授業の到達目標	授業達成目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準	
1、地域のコミュニティ施設の配置方式が説明できる。	③ ④○	A A	d-1 g	
2、コミュニティ施設の代表である集会施設の計画方法を説明できる。	③ ④○	A A	d-1 g	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
各テーマの理解度とそのレポート及び発表内容を総合評価し、60%以上の得点で達成とみなす。レポートには自学自習課題の内容を含む。				
評価方法				
評価は各テーマに対する発表内容(60%)と随時提出させるレポートの内容(40%)により評価する。				
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間	
1. 地域施設計画とは	地域施設体系の復習		4	
2. 地域施設の配置方式、規模算定	講義内容の復習及び課題のレポート作成		4	
3. 集会関連施設の種類の	同上		4	
4. 農村の集落レベルの集会所計画-1 (環境調査)	同上		4	
5. 農村の集落レベルの集会所計画-2	同上		4	
6. 農村の集落レベルの集会所計画-3	同上		4	
7. 農村の集落レベルの集会所計画-4	同上		4	
8. 農村の集落レベルの集会所計画-5	同上		4	
9. 市町村レベルの集会所計画-1 (農産加工施設の併設、黒磯市)	同上		4	
10. 市町村レベルの集会所計画-2 (トレーニングルームの併設)	同上		4	
11. 市町村レベルの集会所計画-3 (トレーニングルームが中心となる、明野町)	同上		4	
12. 市町村レベルの集会所計画-4 (漁協の併設、島の実例、三宅島)	同上		4	
13. 市町村レベルの集会所計画-5 (農協の併設、川西町)	同上		4	
14. 市町村レベルの集会所計画-6 (トレーニングルーム(柔道場)の併設、大里)	同上		4	
15. コミュニティ施設(集会所計画)のまとめ	同上		4	
			自学自習時間合計	60
キーワード	地域、生活圏、コミュニティ、農村地域、機能、規模、配置			
教科書	特になし。必要に応じ随時プリント等を配布。			
参考書	図説集会所づくり			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	建築計画Ⅰ、建築計画Ⅱ、建築計画Ⅲ、福祉住環境、空間計画原論			
現学年の関連科目	まちづくり論、地域設計1			
次年度以降の関連科目	居住地計画論、バリアフリー・デザイン論、文化財保存論			
連絡事項				
隔年開講のため平成27年度は開講しない				
シラバス作成年月日	平成27年2月28日			